

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年6月期調査結果（2023年8月発表分）

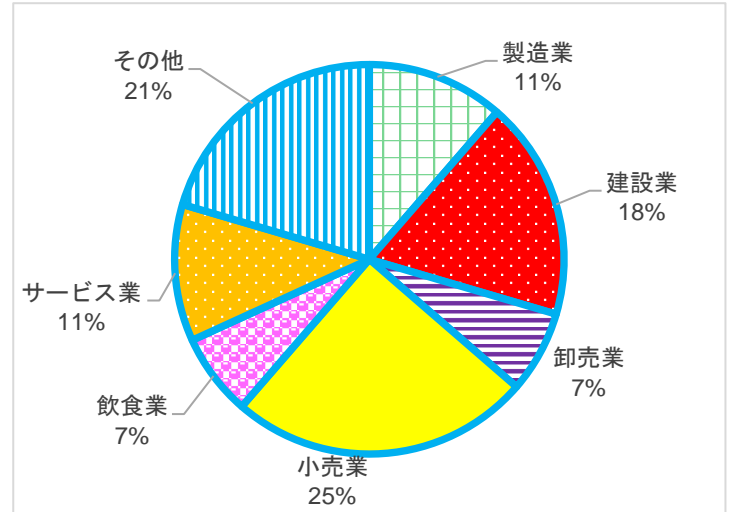
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は44名（回答率は68.7%）

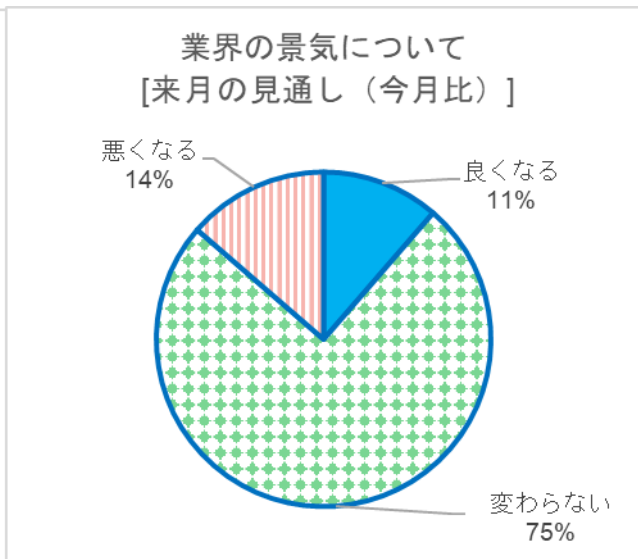
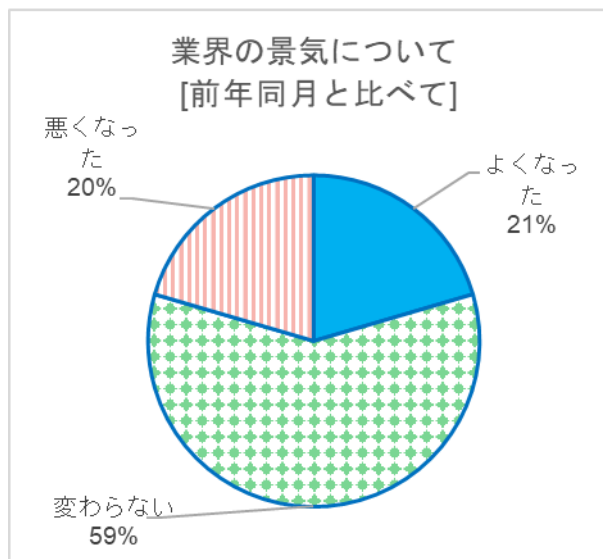
業種	回答者数	構成比
製造業	5	11.4%
建設業	8	18.2%
卸売業	3	6.8%
小売業	11	25.0%
飲食業	3	6.8%
サービス業	5	11.4%
その他	9	20.5%
計	44	100%



調査結果のポイント

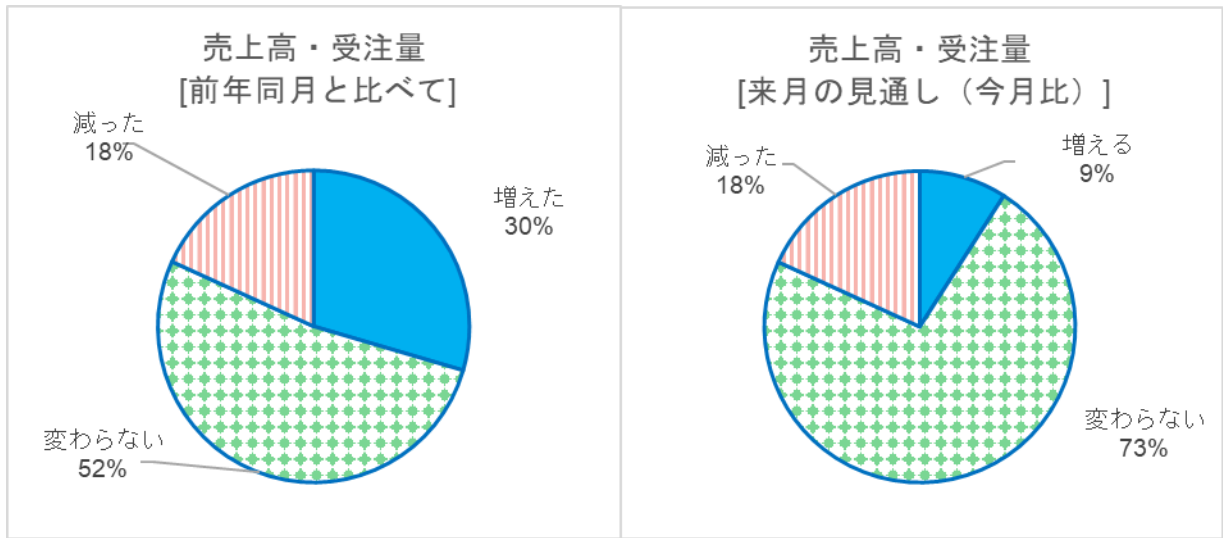
<景況>

- ・2023年6月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が20.5%、「変わらない」が59.1%、「悪くなった」が20.5%となりました。
- ・2023年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「よくなる」が11.4%、「変わらない」が75.0%、「悪くなる」が13.6%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年6月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」29.5%、「変わらない」が52.3%、「減った」が18.2%となりました。
- ・2023年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「増える」が9.1%、「変わらない」が72.7%、「減る」が18.2%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

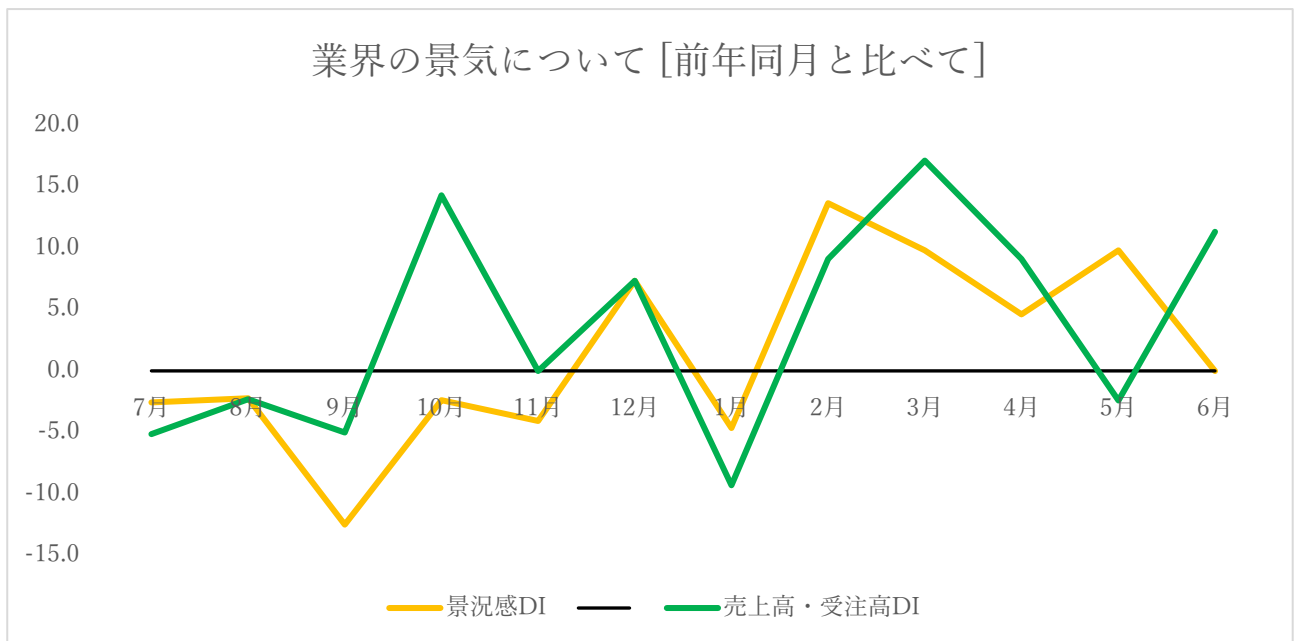
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

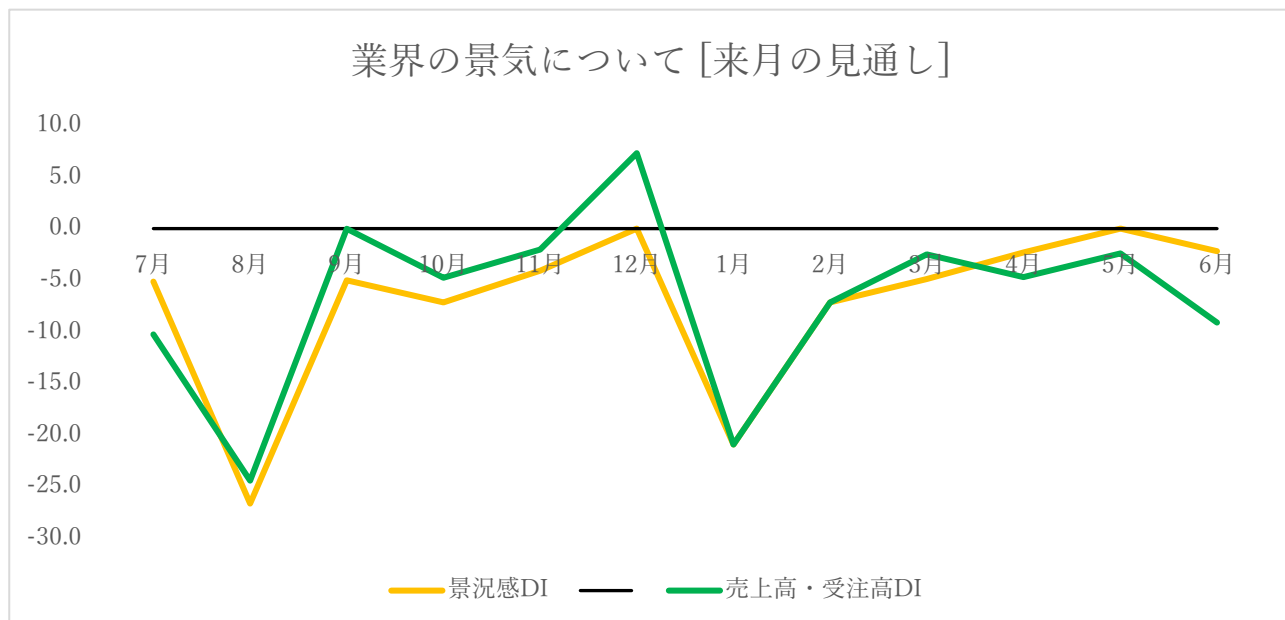
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2023年6月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3

2023年7月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
売上高・受注高DI	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4	-9.1

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
菓子小売業 (製・小)	コロナ明けでいろいろなイベント、お祭りが開催されるようになって活気が戻ってきた。全国で人の往来があるのでお土産等も動いている。しかし円安で物価が高騰しており、自分達もその影響で仕入値が上がり、結果として商品を値上げせざるを得ない。
自動車(小・修)	近年、自動車販売の不当な価格表示が問題になっている。ネットなどで車体価格を安く掲載して、実際にお店に行くとその金額では買えない。それを受けて諸費用を含めた支払い総額の明示化を求める動きが強まっている。
ピアノ・オルガン 部品(製・卸)	仕入業者が高齢の為、廃業するケースが多くなった。
税理士	最近浜名湖近辺を回っていても、土砂崩れの箇所が見受けられる。九州地区の線状降水帯でなくてもこのような所が散見されるのは、顧客のミカン農家他斜面を活用して農業を営んでいる農家さんは、不可抗力的な要素が強いものの、自己防衛的な対策も練らなくてはいけないため、自然災害に対してすごい不安を持っている。
鋳材(卸)	機械類製造業界全体が低迷している。
自動車タイヤ(小)	運送業のお客様が2024年を待たずして廃業の選択をされた。近隣でも2社廃業されたようだ。来年を待たずして廃業の選択をされる方がまだまだ出てきて、物流コストの上昇、失業者の増加、物価の上昇など数多くの問題が噴出する。
警備業	人財を確保するために、賃上げ・雇用条件を良くするなどの取り組みをしているものの、他業種がそれ以上の取り組みを行っているため、特に賃金の高い業種に

	人財は行き、警備業での生産年齢人口の雇用が難しい状況。
税理士	売上は元に戻りつつある。どの業界も人材不足というより、人手そのものが不足にいる。特に若くて元気な人が少ない。
社会保険労務士	事務系求人には応募していただける方々は多くいるが、特定技能（溶接等）を有する求人には、市場の反応は薄い。
楽器(製)	新型コロナウイルスの影響で部品等の仕入れ先がなくなってしまうケースが増えてきている。値段が上がることに加え、仕入することも難しくなっている状況に困っている。
社会保険労務士	社労士業務ソフトのサーバーがマルウェア感染によりサービス停止になった。よりによって最も届出業務の多い時期と重なり、多くの社労士事務所の危機となったろう。
一般土木建築工事業	現場監督・職人共に人手が不足している。また、建設系学科履修学生の減少が気になり。大手企業が採用を強化しているため、学生のUターン就職を期待しにくい。
ディスプレイ業	業界的には回復してきているが、まだ見積り段階が多く、実行には至っていない案件も多い。
茶(加・小)	飲食は、「ちょっと贅沢ゾーン」が値上げの不満も少なく、安定した売上を見込みやすい。
玩具(販)	物価高騰・円安の影響で国内メーカーの値上げがまだ続いていて、全体的に購買意欲の低下に繋がっている。通販も価格競争が激しくて新規参入の大手通販業者が増えてきている。
家庭電化製品(販)	エアコン販売が昨年より悪い。
事業協同組合(機械)	インボイス制度がどのようにトラブルなく機能するか懸念がある。
事業協同組合(青果)	急な豪雨の影響で作物被害が心配である。
事業協同組合(石油)	燃料油価格激変緩和対策事業による補助金が減少することに伴い、小売価格が高くなり、販売数量に影響が出るのが危惧される。
事業協同組合(鉄)	ガソリン代電気代はまだまだ上昇する可能性がある。
木製家具(製)	物件が少なくなると、金額のタタキが始まる。
燃料(小)	燃料価格負担軽減策として、国が石油元売り会社に支給している補助金について、6月から補助の規模が縮小された影響で、灯油価格が7月より値上がりする。
建築設計業	住宅の受注が減ってきている。特に、県西部は顕著とのこと。
社会保険労務士	雇用保険の計算がいつもよりややこしいため、労働保険の年度更新申告書がちゃんと書けない、又は電子申請できないケースが多く見られるようだ。やはり年度途中で保険料率を変えるのはやめて欲しい。
物流運搬設備(製)	地区内の人と顔を合わせても仕事の話が出ない。製造業全般売り上げは下降線。
事業協同組合(鉄)	受注量は増加しつつあるが自動車関連部品（半導体が主）の調査が不安定で売り上げが減少した。
事業協同組合(鉄)	前月に引き続き浜松市の車社会の偏重、公共交通機関が不便だからマチナカの飲食もせずに帰宅する人が多い。

■新型コロナウイルス感染症の影響	
菓子小売業(製・小)	日本の観光地にも国内外の観光客が激増してコロナ以前に戻りつつある。
警備業	警備業界では、新型コロナウイルス感染症が影響する業務量低下はほぼなくなった。
事業協同組合(機械)	コロナ感染症が5類になり、製造業の影響は軽くなった。
居酒屋	コロナの影響はほぼ無くなった。
■物価高騰・円安の影響	
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	為替レートの変動で輸入品が約30%コスト高になった。
楽器(製)	物価の高騰はなかなか収まらない。ここに来てまた円安が加速してきており、収束するにはまだまだ時間がかかりそう。せっかくの売上増加も利益を上げにくくなってしまっているため、手放しでは喜べない。
ディスプレイ業	物価高騰の他、外注の人件費も値上げ傾向が来ている。
茶(加・小)	物価高騰…合わせて売価上げ。客単価増。客数減。
木製品(製)	円安により海外の受注は増えているが、現在の様に極端だと商品の価値が下がってしまい好ましくない。
玩具(販)	物価高騰・円安の影響を理由に、国内メーカーの値上げがまだ当分続いている
事業協同組合(鍍金)	エネルギー・原材料の高騰により、収益率が、著しく悪化している。
■インボイス制度への対応	
税理士	③インボイス制度の開始まで3ヶ月を切った。制度そのものに対する認知度は高まりを感じる。現状は経理処理をどう進めていくかということにポイントが変わってきている。早め早めの対応が望まれる。
■その他	
事業協同組合(ものづくり)	①人材不足が続いており、募集をかけても集まらない。

以上